

勝瀬地区社協だより

発行人 勝瀬地区社会福祉協議会 / 会長 世羅 陽一郎 080-3012-5232 / 編集 広報部会

明けましておめでとうございます



ポインセチア
ポインセチアの花言葉は「思いやり」です。トウダイクサ科の常緑低木で、メキシコが原産です。別名猩々木、クリスマスツリー、11月から3月まで赤や白の葉の真ん中に小さな花弁を付けます。背を屈めポインセチアは愚痴聞きぬ 安愚楽

会長のあいさつ

勝瀬地区社会福祉協議会 会長 世羅 陽一郎

地域の皆様、明けましておめでとうございます。役員の方々や各部会の皆様の活躍で前年とは違いアトラクション・事業に多くの地域住民が集まりました。まずは、お礼申し上げます。福祉委員・地域の皆様と新年のお祝いのできますことを大変うれしく思います。今年もコミュニケーションを大切に邁進いたします。本年も平穏でありますよう祈りいたします。どうぞ地域の笑顔に癒され、多くの人たちの親睦とやさしさでリヌペクトが深まり、福祉委員の輪がもっと広がりますよう期待しております。



新年の抱負



高齢者部会

部会長：馬場 しづえ

明けましておめでとうございます。今年の抱負は部会の方が高齢者で、活動をしていくのが困難な中ですが、活動を続けてまいります。年 11 回行う茶和会（サロンはるな）は、いろいろな行事があるので、昔あそび・ミニ運動会・敬老会（歌・おどり）・クリスマス・その他みなさんに楽しんでいただけるように部会一同頑張りたいと思います。皆さんの参加をおまちしています。

生活部会

部会長：斉藤 喜代子

新春のお慶びを申し上げます。私達の部会は年 4 回の事業に取り組んでいます。福祉・防災・老後・障がい者と交流の輪・パワーアップ体操。時代に沿う必要な事を皆で話し合い取り上げれています。特に障がい者と交流の輪は、市内でも注目の事業です。パワーアップ体操は、平成 26 年から毎週 1 回 2 カ所で行っています。『継続は力なり』の如く、続ける事で体がとても楽です。仲間と共に、仲良く楽しみながら精進して参ります。本年も皆様の御協力・御支援宜しくお願い致します。



子ども部会

部会長：鹿間 裕美子

コロナ禍も次の段階になり、たくさん行事が始まりました。私達子ども部会では、昨年からの検討に検討を重ねながら、その中でもできる行事を行って参りました。子ども部会のメンバーは、積極的に意見を出し合いそれぞれ得意の分野で力を発揮して下さっています。本当に感謝でいっぱいです。次年度も仲良く相談して行事を進めて参りたいと思っています。どんなに時代が変わり、環境が変わっても子ども達は、無邪気な笑顔になる時に出来るのが最高に幸せだと思います。今後、皆様が力を合わせて地域で子ども達を見守っていききたいと思っています。



総務部会

部会長：須藤 貴

コロナ情勢が少し収まり、今年度は各部会も少しずつ活動が戻りつつある中で、総務部会としては各部会の会議、活動等に少し参加させて頂きました。総務部会主催の活動は今年度もできなかったが、新年度は「チャリティーポーター大会」や「研修旅行」ができるようにしたいと考えています。事業の常任委員会、各部会の会議・イベントに参加した時に報告書を作成しているので、各常任委員会や部会長に届けられるようなシステムを作り上げたいと思います。少しずつではあるが、LINE が繋がっている人には個々に送っているので、文字の大きさ、資料の見やすさなど改善点があるので修正していききたいです。会名簿については新入会者・退会者の内容を新年度に更新していききたいです。以上を新年の抱負とします。

広報部会

部会長：世羅 陽一郎

1 月に「社協だより」46 号の発行を終え、ほっとしているところです。高齢化のため 11 名の部員から 9 名になりましたが、プラス思考で乗り切りたいと考えています。広報活動の守備範囲は広く、深いのですが今やれることをやるばかりです。紙面も「地域と人」シリーズも定着し、今回から「川柳コーナー」を設けました。令和 6 年 2 月に包括支援センターの講習会を予定しております。新年度より社会福祉協議会の予算額が削減予定されていますが、活動は委縮されずに各部会の活動を宣伝させていただきます。また、多くの読者の声をお聞かせください。



生活部会 斉藤 喜代子
高齢者部会 馬場 しづえ
広報部会 世羅 陽一郎
子ども部会 鹿間 裕美子
総務部会 須藤 貴



共同募金活動 10月2日(月) ふじみ野駅東口にて



「民生委員・児童委員活動」にまつて



勝瀬地区民児協 会長 副会長
市社会福祉協議会
戸田 信江

勝瀬地区の皆様、あけましておめでとうございます。私達、勝瀬地区民児協は現在、民生委員・児童委員24名、主任児童委員2名で活動しています。地域の皆様の身近な相談相手として、地域福祉の協力活動や支援（子育て支援・高齢者支援・見守り支援・障がい者支援等）を行っています。何か困りごとがありましたら、お気軽にお声をかけてください。皆様方が安心して生活できるように、今年も活動して参りますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いたします。

「新年の抱負」



勝瀬小学校校区
まちづくり協議会 会長
押田 一

日頃より、勝瀬小学校区まちづくり協議会に對しまして、地域の皆様方には大変お世話になっております。今年度はコロナ禍も第5類に引き下げられ、活動の制限も緩和されました。そこで、各地で行われなくなった盆踊り大会を、勝瀬集会所前広場に於いて、第一回大会として開催致しました。来年度も開催が決定しておりますので、各地域の活性化の一助になれば幸いです。「地域のひとり人を大切に」をモットーにこれからも、各地域の環境美化、防犯活動、地域の文化交流に邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願申し上げます。

「地域と人」シリーズ - 第5回 -

栗原 平さん

コロナ禍に思う

私は、昭和26年、入間郡鶴瀬村渡戸に生まれ、地元鶴瀬小学校、富士見台中学校に学びました。富士見市には昔から鶴瀬駅がありました。みずほ台駅ができ、さらに平成に入り、ふじみ野駅ができ、勝瀬地区の発展を肌感じております。時代が昭和から平成に変わった平成元年に、この地で「最先端の地域医療、をやる」と決心し、翌年の平成2年3月に栗原医院を開設しました。「気安くかかれる医院とお互いに納得がいく医療、を診療理念とし、脳神経外科、整形外科、心臓外科、消化器外科、糖尿病内科の先生方のご協力により、入院設備の有る有床診療所を始めました。最先端の地域救急を旨とし、早期診断早期治療のために全身用CTスキャンを導入し、さらには、最新鋭のMRI(核磁気共鳴装置)をいち早く導入し早期診断治療に貢献いたしました。

平成時代のおよそ30年間、地域医療最先端の医療をおこなってまいりましたが、時代が平成から令和に変わった直後に世の中は我々の経験したことが無い「コロナ禍」に見舞われました。令和5年になって、この「コロナ禍」もやっと先が見えてきたように思われます。このコロナ禍の経験は、これからの我々の生活に生かさなければいけないと考えております。医学、医療は日進月歩で進歩しておりますが、ウイルス変異し新しいウイルスが生まれ、我々人間に新たな感染症を発生します。大切なことは、ウイルスの本質を認識し、我々の生活環境、を見直していかねばならないと思います。

コロナ禍を起こした原因は、「コロナウイルス、ですが、このウイルスと我々がどう向き合うか」ということを考えなければならぬと思います。ウイルスの基本を理解し、これに對処する事が大切です。今回のコロナウイルス感染症は、コロナ

ウイルスが人間の肺に入り込み、肺で増殖します。人間が呼吸によってこのウイルスを吐き、この吐いたウイルスを再び、人間が吸うことによって感染症が広がりました。

コロナに感染しない為には、コロナウイルスを吸わないことです。肺に入れないことです。ですから、マスクをして少しでもコロナウイルスを吸わないようにすることも大切です。しかし、相手のウイルスはミクロン(100万分の1ミリ)単位のものであります。吸わないわけにいきません。ミクロン単位のウイルスを少量吸っても感染症にはならないでしょう。人間には、ウイルスに對する抵抗力(免疫カ)があるはずで、ワクチンを注射すれば抵抗力(免疫カ)も上がるでしょう。ここで大切なことは、コロナウイルスを少しでも吸わない為には、どうするかということです。ウイルスを空気で薄めてしまう事です。それは、「換氣」が大切です。ウイルスの本質、特性として、ウイルスは空気中で不活化されるのです。簡単に言えばウイルスは死んでしまえます。ですから、ウイルスを空気に晒し、ウイルス量を薄める「換氣」が最も重要なことです。

最近、どの部屋も冷暖房が完備され、効率を良くするためにすきま風の入らない密閉状態が多くなっています。コロナウイルスが何処にどれくらいいるのか見えればよいのですが、今のところは不可能です。しかし、空気の換氣状態を知るには、「二酸化炭素、を測定することによって解ります。二酸化炭素は、測定器が市販されているので簡単に測定できます。これによって換氣状態が判明します。

このように、コロナウイルス感染症から身を守るには、換氣の悪い所は避けて、「換氣の良い生活」が最も大切だと思います。



栗原医院

★地域の子ども食堂を訪ねました★

「みんなの食堂ちいちゃん」は羽沢一丁目14-27の道路沿いにあります。令和5年3月より家庭料理を中心に月1回第二土曜日午後4時から7時まで開いていますのでご利用ください。幼児、小・中学生は無料です。大人の方は500円です。是非、ご賞味ください。店主の栗原千香さんの笑顔でお迎えます。お持ち帰りもできます。メニュー：カレーライス、サラダ、スープ、コロッケ



編集後記

いつも福祉委員の活動に感謝致します。「地域と人」シリーズ第5回は栗原医院の栗原平院長の寄稿をいただきました。お話の中でウイルスの予防ポイントを示されています。「ウイルスは空気で薄めること。換氣が基本です。」談話がありました。勝瀬地区福祉協会は設立16年が経ち、福祉委員84名の大きな組織になりました。これからもより良い事業を作りたいと思います。また、地域ボランティアの皆様にお礼を申し上げます。本年もいろいろな事業がありますが、どうぞ宜しくお願い致します。 Y: S 記

かつきょうの川柳コーナー

年金は 暗夜行路の 試験など

やさしさを 押しりしない 福祉です

体育祭 身体動かず 口走る

病院に 仲間集めて 飲み会へ

おれだおれ 名前を名乗れ 詐欺師たち

第42回 富士見市社会福祉大会 表彰者

10年奉仕者表彰

小川 桂子さん (子ども部会)
高田 フミ子さん (生活部会)
蓮水 百合恵さん (高齢者部会)
橋本 幸子さん (生活部会)

団体役員表彰

世羅 陽一郎さん (広報部会)
※表彰日は
令和6年2月23日(金)
鶴瀬コミュニティセンターにて

／おめでとうございます／